

まち歩きコース  
～小松帯刀ゆかりの地、吉利を巡る～



「幻の宰相」小松帯刀

小松帯刀は天保6(1835)年、喜入(現鹿兒島市喜入)領主の肝付兼善の三男・尚五郎として生まれました。のちに吉利(現日置市吉利)領主であった小松家の養子となり、小松帯刀清廉と改名します。吉利領主となった帯刀は、藩の近代化を進める島津斉彬の下で火消隊長となり文久2(1862)年には家老へ昇進。倒幕に向けての薩長同盟や大政奉還を将軍徳川慶喜に進言するなど明治維新の礎を築きました。維新後は新政府の参与となり、版籍奉還(はんせきほうかん)の際は領地である吉利の返上と家格の返還を行い、諸大名に模範を示しました。新政府の中核として最も活躍を期待されたひとりであったが、明治3(1870)年、36歳の若さで死去。その早すぎる死で維新後の活躍が果たせなかったことを惜しみ「幻の宰相」と呼ばれています。

- ★まち歩きルート
- ① 日置大橋バス停 → ② 園林寺跡 (10分)
  - ② 園林寺跡 → ③ 鬼丸神社 (10分)
  - ③ 鬼丸神社 → ④ 吉利小学校 (7分)
  - ④ 吉利小学校 → ⑤ 清浄寺 (2分)
  - ⑤ 清浄寺 → ⑥ 吉利農協前バス停 (3分)

※見学時間は含みません。バスの時刻は事前に確認してください。



②小松家墓所(園林寺跡)

文禄4(1595)年、禰寝(ねじめ)重張が禰寝院(現南大隅町と錦江町)から吉利に領地替えの際に移された寺院で、明治2(1869)年に廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)で廃寺となりました。17代重張以降の歴代当主やその夫人などの墓があり、29代小松帯刀の墓もあります。※24代清香の代で「禰寝」から「小松」に改姓。



④御飯屋跡(吉利小学校)

御飯屋跡には現在、吉利小学校が建っています。禰寝院から吉利に領地替えの際、旧領にあった南谷城(なんでんじょう)の名をとり、小松家(当時禰寝家)の館を設けました。帯刀も領地であった吉利をたびたび訪れ、治績に尽くしたと伝えられています。※写真は吉利小学校から伸びる麓集落。石垣など当時の風情を残しています。校内の見学は管理者の許可が必要。

かごしま交通バス 時刻表

下り (伊作方面)		のぼり (伊集院駅)	
伊集院駅	日置大橋	吉利農協前	伊集院駅
5:47	6:07	6:28	6:50
7:20	7:40	6:40	7:00
7:50	8:10	7:05	7:28
8:40	9:00	7:46	8:08
9:30	9:50	9:00	9:23
11:00	11:20	9:47	10:13
12:05	12:25	10:31	10:53
13:15	13:35	11:49	12:11
14:10	14:30	13:08	13:30
15:00	15:20	15:06	15:28
16:25	16:45	15:30	15:53
17:05	17:25	15:54	16:16
17:50	18:10	16:28	16:50
19:00	19:20	18:18	18:40
20:10	20:30	19:21	19:43

△=日祝運休、▽△ 土曜・日祝運休



⑤ 清浄寺(しょうじょうじ)

園林寺は明治2(1869)年の廃仏毀釈で廃寺となりその後、明治10(1877)年に清浄寺が建てられました。明治34(1901)年に小松家の子孫の依頼で先祖供養塔を園林寺跡に建立し、同時に小松家の位牌を清浄寺に安置するようになり、清浄寺が小松家の菩提寺となりました。帯刀の妻お近が所有していた阿弥陀如来像が現存しています。境内の小松帯刀像が御飯屋があった吉利小学校を眺めています。

※禰寝(ねじめ)の欄は示(しめす)偏ですが、ネで表記をしています。